

学生の皆様へ

春休み期間中における新型コロナウイルスの感染回避行動の徹底のお願い

愛媛県では、年明けに顕著となった感染拡大を抑え込むため、1月8日以降を「特別警戒期間」として、感染回避行動の徹底等をお願いしたところであり、皆様の御理解と御協力により、県内の感染状況は減少傾向に転じております。

しかしながら、医療現場への負荷、専門家の意見や国の緊急事態宣言の延長等を踏まえ、総合的に検討した結果、「特別警戒期間」を当面、3月7日まで再延長し、より一層の感染回避行動の徹底をお願いすることとしました。

これから春休みを迎え、学生の皆様には、帰省や卒業旅行など県外との行き来による感染持ち帰りや、送別会・謝恩会等による感染拡大のリスクに気を付けていただき、訪問先の感染状況等を確認するとともに、状況によっては実施を控えるなど、感染回避行動の徹底を心がけていただきますようお願いいたします。

○感染拡大を防ぐための注意

●帰省や卒業旅行について

- ・帰省にあたっては、マスク着用など感染防止対策を徹底するとともに、帰省先の感染状況等を確認した上で、感染拡大地域にあっては、その実施を御家庭で相談するなど十分に検討を行う
- ・卒業旅行については、なるべく混雑しない平日の間、いつもの仲間で行動することとし、訪問先の感染状況等を確認した上で、感染拡大地域への旅行は控える
- ・発熱等の症状がある場合などは、行わない

●三密回避のうえ、マスクは必ず着用（油断は禁物！！）

●会食（いわゆる「飲み会」）について

- ・大人数(5人以上)、普段顔を合わせないメンバー、長時間の会食は行わない
- ・体調不良の方は会食に参加しない、させない
- ・感染拡大地域での滞在など、2週間以内に感染リスクの高い行動をとっている方は、会食を避ける
- ・上記に当てはまる場合は、恒例の会食（送別会や同窓会等）であっても、開催を見送る、誘われても断る

※飲食店の会食だけではなく、ホームパーティー、カラオケ等の場所であっても、同様に感染リスクがあり、県内での感染事例が発生していることにも注意

●感染リスクが高まる「5つの場面」に十分注意

※「5つの場面」：①飲酒を伴う懇親会等、②大人数や長時間におよぶ飲食、
③マスクなしでの会話、④狭い空間での共同生活、⑤居場所の切り替わり（更衣室、休憩所等での感染）

●国の接触確認アプリ「COCOA」・本県独自の接触確認システム「えひめコロナお知らせネット」の積極活用

新型コロナウイルス接触確認アプリのインストールをおねがいします

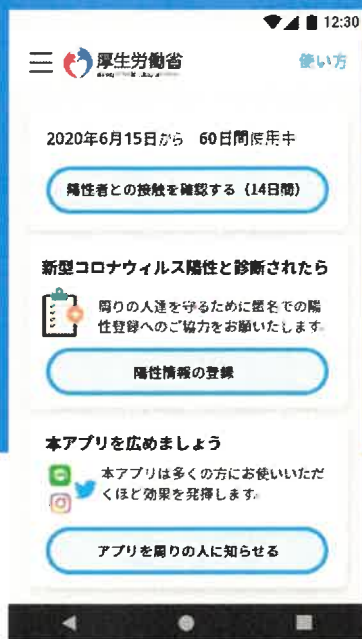
自分をまもり、大切な人をまもり、
地域と社会をまもるために、
接触確認アプリをインストールしましょう。

厚生労働省

新型コロナウイルス 接触確認アプリ

(略称：COCOA)

COVID-19 Contact Confirming Application



*画面イメージ

接触確認アプリは、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について、通知を受け取ることができる、スマートフォンのアプリです

○本アプリは、利用者ご本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能（ブルートゥース）を利用して、お互いに分からないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受け取ることができるアプリです。

○利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用者が増えることで、感染拡大の防止につながることを期待されます。

1メートル以内、15分以上の接触した可能性



- ・接触に関する記録は、端末の中だけで管理し、外にはできません
- ・どこで、いつ、誰と接触したのかは、互いにわかりません

※端末の中のみで接触の情報（ランダムな符号）を記録します
※記録は14日経過後に無効となります

※連絡先、位置情報など個人が特定される情報は記録しません
※ブルートゥースをオフにすると情報を記録しません

iPhoneの方はこちら



Androidの方はこちら



詳しくはこちら

厚生労働省
ウェブサイト



問1 接触確認アプリとは、どのようなものですか。

利用者ご本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能（ブルートゥース）を利用して、お互いに分からないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受けることができます。なお、本アプリはApple社とGoogle社が提供しているアプリケーション・プログラミング・インターフェイス(API)を元に開発しています。

問2 アプリを利用することで、どのようなメリットがありますか。

利用者は、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用者が増えることで、感染拡大の防止につながることが期待されます。

問3 他の利用者との接触をどのように記録するのですか。

スマートフォンの近接通信機能（ブルートゥース）を利用して、ほかのスマートフォンとの近接した状態（概ね1メートル以内で15分以上）を接触として検知します。近接した状態の情報は、ご本人のスマートフォンの中にのみ暗号化して記録され、14日が経過した後に自動的に無効になります。この記録は、端末から外部に出ることはなく、利用者はアプリを削除することで、いつでも任意に記録を削除できます。

問4 個人情報が収集されることはありませんか。

氏名・電話番号・メールアドレスなどの個人の特定につながる情報を入力いただくことはありません。他のスマートフォンとの近接した状態の情報は、暗号化のうえ、ご本人のスマートフォンの中にのみ記録され、14日の経過した後に自動的に無効になります。行政機関や第三者が接触の記録や個人の情報を利用し、収集することはありません。

問5 位置情報を利用するのですか。

GPSなどの位置情報を利用することはない、記録することはありません。

問6 他の利用者との接触を検知する目安はありますか。

ご利用のスマートフォン同士が、概ね1メートル以内の距離で15分以上の近接した状態にあった場合、接触として検知される可能性が高くなります。機器の性能や周辺環境（ガラス窓や薄い障壁など）、端末を所持する方向などの条件や状態により、計測する距離や時間に差が生じますので、正確性を保証するものではありません。

問7 利用はいつでも中止できますか。

いつでも任意にアプリの利用を中止し、アプリを削除することで、すべての過去14日間分までの記録を削除できます。

問8 アプリでは、どのような通知がきますか。

新型コロナウイルス感染症の陽性者が、本人の同意のもと、陽性者であることを登録した場合に、その陽性者と過去14日間に、概ね1メートル以内で15分以上の近接した状態の可能性があった場合に通知されます。通知を受けた後は、ご自身の症状などを選択いただくと、受診・相談センター等の連絡先が表示され、検査の受診などが案内されます。

問9 新型コロナウイルス感染症の陽性者がアプリで登録したら通知はすぐにきますか。

利用者への通知は、1日1回程度となっております。アプリへの登録のタイミングによっては、すぐに通知されない場合があります。なお、アプリの設定で「通知をON」にいただくと、通知があった場合に画面上に通知メッセージが表示されます。

問10 新型コロナウイルス感染症の陽性者と診断されましたが、アプリで登録しなかったらどうなりますか。

陽性者と診断された場合に、アプリへの登録は、利用者の同意が前提であり、任意です。登録いただくことで、あなたと接触した可能性がある方が、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。

問11 陽性者との接触の可能性が確認されたとの通知を受けたら、何をすればいいですか。

アプリの画面に表示される手順に沿って、ご自身の症状などを選択いただくと、受診・相談センターなどの連絡先が表示され、検査の受診などをご案内します。

問12 厚生労働省ではアプリで得た情報を何に利用するのですか。

厚生労働省では、アプリにより、利用者のデータを利用し、収集することはありません。利用者に氏名・電話番号などの個人情報を入力いただくこともありません。